

特別展「中国宋・元・明時代の漆器—和の漆器や香道具とともに」

2026年4月14日(火)～6月28日(日)

公益財団法人 大倉文化財団 大倉集古館



1 《孔雀堆朱円盆》元時代・14世紀 個人蔵

【概要】

中国における漆工芸品は、およそ八千年前の先史より悠久の時をかけて使い続けられてきました。その中には漆を塗っただけの簡素なものや、超絶技巧をほどこしたものなど多彩な作品が含まれています。本展覧会では、これまでほぼ紹介されたことのなかった中国 宋・元時代を中心とした漆器 54 点を取り上げます。いずれも、貴重かつ希少な類の作品で、中国漆器を研究する際には不可欠な作品ばかりです。本展覧会を通じて、多くの方々に中国漆器への関心を持って頂けるようになれば幸いです。

なお、第2章では、大倉集古館所蔵品の中から大倉家ゆかりの手箱などの和の漆器や香道具など約 30 点をご紹介します。

【展示作品】約 85 件

【第1章】中国 宋・元・明時代の漆器（2階）

中国の漆器は、日本において平安時代後期の12世紀以降、交易を通して伝えられ、寺院や宮中で大切にされてきました。これらは「唐物」と称され、床の間の飾りとして使用され、後に茶道具に添えられた盆や香合としてもつかわれるようになります。中国の漆器は大変貴重なものであり、中国本土においても優品を多くみることが稀と言われます。第1章では、日本に伝わった貴重な中国の漆器を、技法ごとにご紹介いたします。具体的には、「無文漆器」「犀皮（さいひ）」「堆朱（ついしゅ）」「堆黒（ついこく）」「堆黄（ついおう）」「彫彩漆（ちょうさいしつ）」「螺鈿（らでん）」「存星（ぞんせい）」の8種類です。技法ごとの魅力とともに、日本の漆器とはまた異なった雄大さや、ち密さなど、中国漆器ならではの世界観をお楽しみください。



2 《黒漆五花盆》北宋時代・12世紀 個人蔵
シンプルでありながら、緊張感と優雅さを感じさせる優品です。



3 《犀皮長箱》南宋時代・13世紀 個人蔵
何色かの色漆を塗り重ね、文様を彫り出したものを犀皮(さいひ)と呼びます。本品はひときわ洗練された作品として名高いものです。



4 《蓮池水禽堆朱円盆》元時代・14世紀 個人蔵
鎌倉彫に似ていますが、朱漆を塗り重ねてオシドリと蓮を彫り上げた迫力に富んだ堆朱(ついしゅ)の作品です。



5 《花鳥堆黒長盆》南宋時代・13世紀 個人蔵
黒漆を塗り重ね高度な技術で文様を仕上げた作品。格調の高さを漂わせています。



6 《龍堆黄円盆》明時代・1589年（万曆17）
東京国立博物館蔵
朱漆を塗った地に黄漆を塗り重ねて龍を彫りあらわした、力あふれる堆黄の傑作です。



7 《福字彫彩漆輪花盆》明時代・16世紀（嘉靖期）
個人蔵
彫彩漆は、朱、緑、黄といった彩漆を交互に塗り重ね、模様ごとに彫り分けたものです。吉祥文で埋め尽くされ、めでたい雰囲気がいっぱいに漂わせています。



8 《龍鳳螺鈿長盆》元時代・14世紀 個人蔵
光を放つ貝をはめ込んだ螺鈿の作品。皇帝を表す5爪の龍や鳳凰が精緻に表現された白眉の作品です。



9 《鳳凰存星器局》明時代・16世紀（嘉靖期）個人蔵
存星とは、漆地に色漆で文様を描くか、彫って色漆をつめこみ、輪郭や細部に沈金を施したものです。技の粋を見事に示した珠玉の作品です。

【第2章】和の漆器－大倉家ゆかりの手箱や香道具と和の文化（1階）

第2章では、大倉集古館所蔵の和の漆器の世界をお楽しみいただきます。大倉集古館を設立した大倉喜八郎は調度を好み、日本と中国の漆器を多く集めました。開館当初は「世界で一番の堆朱の所蔵館」として名を馳せ、多くの魅力的な中国漆器を所蔵しました。また、大名家に旧蔵された日本の調度品も多く収集し、木彫工芸家の支援も行いました。しかし、関東大震災によりこれらの作品はすべて灰燼に帰してしまいます。

その後、大倉家で使用していた漆器や、2代目喜七郎、その妻・久美子から寄贈された漆器が現在の所蔵品の一翼を占めています。特に久美子は、御家流香道・桂雪会を発足したことで知られ、魅力的な香道具を所持していました。喜七郎や久美子が愛した和の文化の一端をご紹介します。



10 国宝《古今和歌集序》（部分）藤原定実 平安時代・12世紀 大倉集古館蔵【巻替えあり】
大倉喜七郎が愛した古今和歌集序の名品。卷子本古今和歌集の中で唯一完存します。



11 重要文化財《長生殿時絵手箱》鎌倉時代・13～14世紀 大倉集古館蔵
大倉久美子の実家、越後新発田藩主溝口家に伝わった作品です。



12 《松竹梅文蒔絵十種香箱》江戸時代・18～19世紀 大倉集古館蔵
大倉久美子遺愛の香道具です。加賀藩主前田家旧蔵とされます。

【展覧会名】 特別展「中国宋・元・明時代の漆器一和の漆器や香道具とともに」

【会期】 2026年4月14日(火)～6月28日(日)

【開館時間】 10:00～17:00 (入館は16:30まで)

【休館日】 毎週月曜日 (ただし5/4は開館)、5/7

【入館料】 一般1,500円、大学生・高校生1,000円、中学生以下無料

割引併用不可 ※同会期中のリピーターは500円引き(一般、大学・高校生料金お支払いの方のみ)

※20名様以上の団体は500円引き

※障がい者手帳、被爆者手帳をご提示の方とその同伴者1名は無料

※お着物(和装)でご来館の方は300円引き

※ミュージアムパスポート5,500円

※オークラ東京とのセット鑑賞券(ランチセット6,000円、茶菓セット3,100円)

【主催】 公益財団法人大倉文化財団 大倉集古館

【協力】 大成建設株式会社、特種東海製紙株式会社、株式会社ニッピ、株式会社ホテルオークラ

【会場】 公益財団法人 大倉文化財団 大倉集古館

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-10-3 (オークラ東京前)

TEL:03-5575-5711

<https://www.shukokan.org/>

【アクセス】

- ・東京メトロ南北線 六本木一丁目駅中央改札口(泉ガーデン方面)より5分
- ・東京メトロ日比谷線 神谷町駅4b出口より7分
- ・東京メトロ銀座線・南北線 溜池山王駅13番出口より10分
- ・東京メトロ日比谷線 虎ノ門ヒルズ駅A2a出口より8分

【展覧会に関するお問い合わせ】

(広報担当) 高野明子(学芸補助) (takano.a@shukokan.org)

(展覧会担当) 四宮美帆子(主任学芸員) (shinomi@shukokan.org)

平塚泰三(学芸部長) (hiratsuka.t@shukokan.org)

※3人宛にご連絡下さい。■を@にしてください。

電話:03-5575-5711、FAX:03-5575-5712

■講演会

「本展覧会によせて（仮題）」

講師：西岡康宏（当館館長）

日時：5月16日（土）14：00から（約1時間）

会場：大倉集古館 地下1階ホール

聴講料：無料（ただし入場には入館券が必要です）

定員：60人（事前申込制、先着順）

お申込み：大倉集古館（[申し込み開始日はHPをご確認ください](#)）

TEL：03-5575-5711（月～金 10：00～17：00）

■当館学芸員によるギャラリートーク

担当：平塚泰三（学芸部長）、四宮美帆子（主任学芸員）

日時：4/21（火）、5/19（火）、6月16日（火） 各14:00から（約1時間）

会場：大倉集古館展示室 1階EV付近にお集まりください。

お申込み：不要（入場には入館券が必要です）

■演奏会1

「オークラウロ トリオコンサート」

出演：小湊昭尚（ソプラノ・オークラウロ）、大河内淳矢（アルト・オークラウロ）、
元永拓（バス・オークラウロ）

日時：4/24（金）18：15開場、18：50開演

会場：大倉集古館展示室

料金：3500円（現金のみ）

お申込み：大倉集古館（[申し込みはHPのオークラウロのページをご確認ください](#)）

TEL：03-5575-5711（月～金 10：00～17：00）

■演奏会2

「戸室玄ピアノリサイタル」

出演：戸室玄

日時：6/8（月）18：00開場、18：30開演

会場：大倉集古館展示室

料金：4500円（現金のみ）

お申込み：大倉集古館（[申し込み開始日はHPをご確認ください](#)）

TEL：03-5575-5711（月～金 10：00～17：00）

■次回展覧会

企画展「祈りと救いの美－国宝 普賢菩薩騎象像との出会い」展

2026年7月28日（火）～9月27日（日）

特別展

特別展「中国宋・元・明時代の漆器—和の漆器や香道具とともに」

報道内覧会のご案内

2026年4月13日（月）（受付）11：00～、（作品解説）11：15～12：15、（終了）13：00

担当学芸員より展覧会のご説明や作品解説を行い、ご質問にお答えいたします。

展示室内をご撮影いただけます。

ご出席いただける場合は、下記フォームにご記入の上、FAX かメールにてご返信ください

返信先 FAX 03-5575-5712

E-mail takano.a@shukokan.org

大倉集古館 高野明子 宛

■ご担当者情報

貴社名	
ご担当職・ご氏名	
電話番号・FAX 番号	
メールアドレス	

■参加者（上記以外）

ご所属・役職名	ご氏名

【会場】大倉集古館 〒105-0001 東京都港区虎ノ門 2-10-3（オークラ東京正面玄関前）

- ・東京メトロ南北線 六本木一丁目駅改札口（泉ガーデン方面）より5分
- ・東京メトロ日比谷線 神谷町駅 4b 出口より7分
- ・東京メトロ日比谷線 虎ノ門ヒルズ駅 A2a 出口より8分
- ・東京メトロ銀座線・南北線 溜池山王駅 13 番出口より10分

特別展「**中国**宋・元・明時代の**漆器**—和の漆器や香道具とともに」展
 広報用画像申請書

宛先： 大倉集古館 学芸部 高野明子 宛
 FAX： 03-5575-5712
 E-mail： takano.a@shukokan.org

■ 図版使用に際しての注意

- ・ 本展覧会の紹介を目的とする内容にのみご使用ください。
- ・ ご申請いただいた記事・番組に限り、本展の広報用画像の使用が可能です。
- ・ 使用後のデータは破棄してください。・ ウェブ上で使用する場合は、コピーガードを施してください。
- ・ 画像への文字のせはご遠慮ください。
- ・ 図版使用の際は必ず作品キャプションを載せてください。
- ・ 画像使用の掲載誌や放送 DVD は 1 部ご送付ください。

希望	No	作品
	1	《孔雀堆朱円盆》元時代・14世紀 個人蔵
	2	《黒漆五花盆》北宋・13世紀 個人蔵
	3	《犀皮長箱》南宋・13世紀 個人蔵
	4	《蓮池水禽堆朱円盆》元時代・14世紀 個人蔵
	5	《花鳥堆黒長盆》南宋時代・13世紀 個人蔵
	6	《龍堆黄円盆》明時代・1589年（万暦17）東京国立博物館蔵
	7	《福字彫彩漆輪花盆》明時代・16世紀（嘉靖期）個人蔵
	8	《龍鳳螺鈿長盆》元時代・14世紀 個人蔵
	9	《鳳凰存星器局》明時代・16世紀（嘉靖期）個人蔵
	10	国宝《古今和歌集序》（部分）藤原定実 平安時代・12世紀 大倉集古館蔵【巻替えあり】
	11	重要文化財《長生殿蒔絵手箱》鎌倉時代13～14世紀 大倉集古館蔵
	12	《松竹梅文蒔絵十種香箱》江戸時代・18～19世紀 大倉集古館蔵

貴社名	
ご担当者名	
TEL/Email ご連絡先	
媒体名、発行日	